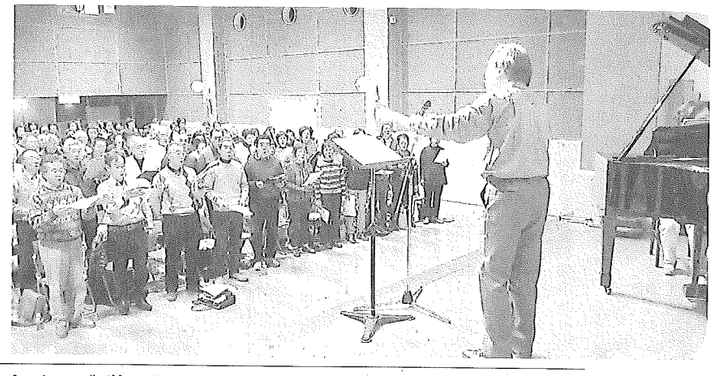
「かすかべ讃歌」完成 8日に披露

市イメージソング、創立30周年の市合唱連

市の花・藤、織り込む

春日部市合唱連盟が、市のイメージソングを完成させ、8日に開く創立30周年記念演奏会で初披露する。歌のタイトルは「かすかべ讃歌(さんか)―むらさきに―」。春日部市の花である「藤(ふじ)」をイメージして曲想を練り上げた。初披露に向け、メンバーの練習も熱がこもる。

同合唱連盟は10周年、20周年にも記念演奏会を開いたが、30周年を迎えた昨年、目玉として市のイメージソングをつくる方針を4月の総会で決め、準備を重ねてきた。84年の同連盟発足時から理事長を務めている声楽家の大岩篤郎さん(66)が作曲。作詞は妻でソプラノ歌手の大岩誓子さん、編曲は早乙女誠さんが担当。今年1月に完成させた。



「かすかべ讃歌」披露に向け、練習に励む春日部市合唱連盟のメンバー（同連盟提供）

春日部をあらわすイメージカラーは市の花「藤」の紫色ということで、歌のサブタイトルは「むらさきに」。歌詞の中にも「うすむらさきに　かすみたなびき」「むらさき深く　たゆとう水面に」と「むらさき」を多用。市の木である「桐」も歌詞に登場する。

大岩さんは「いままで市民が口ずさむ歌がなかった。歌詞は親しみのある内容に、曲も合唱で歌えるように平易なものにした。長く歌い継がれる歌になってほしい」と思いを込める。

一方、春日部市も旧庄和町との合併10周年を記念し、15年度中に市の歌をつくろうとしている。軌を一にした盛り上がりぶりに「春日部は音楽が盛んな街。音楽を通じ盛り上がっていければいい」と市シティーセールス広報課。

同合唱連盟には市内の中学、高校の合唱部などを含め、26団体が加盟する。例年の活動は、7月の市民合唱祭、秋のコーラスフェスティバル、冬の合唱講習会など。地域に開かれた活動が認められ、2011年11月に県が顕彰する「文化ともしび賞」を受賞した。

演奏会は春日部市民文化会館大ホールで、8日午後1時開場、同2時開演。「かすかべ讃歌」を加盟団体全員で合同合唱するほか、観客にも歌ってもらう予定だ。入場無料。

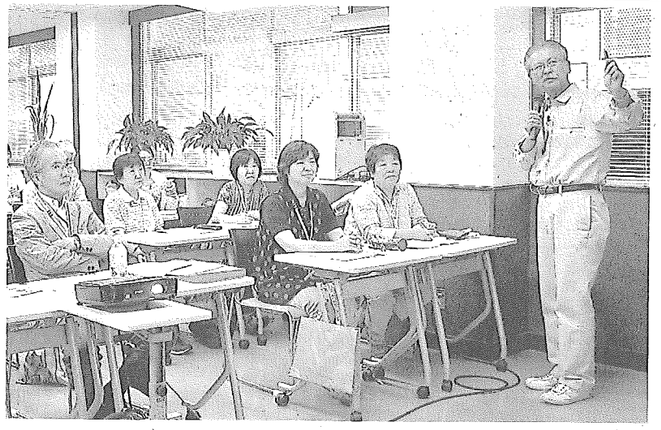
（春山陽一）

元気な高齢者の活動事例集に川口・中尾さん(68)

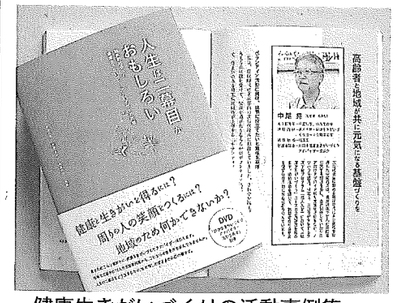
人生の二幕目 生きがい支援

生涯学習の講師務める

「人生は二幕目がおもしろい」。こんな表題で、全国の元気な高齢者をとりあげた活動事例集を「健康・生きがい開発財団」（東京都文京区）が発刊した。副題は「超高齢社会への健康生きがいづくりアドバイザーの挑戦」。地域で活躍するシニアの代表として、川口市の元広告マン・中尾堯(たかし)さん(68)の活動を紹介している。



生涯学習講座「盛人大学」で講師を務める中尾堯さん（右）＝川口市



健康生きがいづくりの活動事例集「人生は二幕目がおもしろい」

長い人生を、いかに楽しく豊かに生きるか。事例集はその道筋を提案し、財団の認定資格「健康生きがいづくりアドバイザー」の役割を解説。相談に応じ、中高年に指導や助言をする有資格者16人が「もうひと働き」する姿をつづっている。

その一人が中尾さん。会員数41人を率いる「市健康生きがいづくりアドバイザー協議会」の会長だ。

「はつらつと暮らすために大事なことが二つ。それはキョウヨウとキョウイクです」。ある日の高齢者施設。中尾さんの健康講話に場はざわめいた。そんな空気が満ちた頃、「キョウヨウは『今日の用事』、キョウイクは『今日行くところ』」と種明かし。教養と教育ではないと知ったお年寄りは柔和な表情に転じて、「同感、同感」。

こんな軽妙なやりとりを通じ、「張り合いを持って生きよう」と呼びかける。時には自分の趣味も話題にする。高齢者の鋭気醸成を目的にした出前歌声喫茶や、年の瀬に仲間と歌う「第九」。昨年は北海道とポーランドを駆け抜けた自転車の旅――。

広告会社勤務の55歳のとき、高齢者向けの情報紙づくりを手掛けたのがきっかけでアドバイザー資格を取得した。現在は市の生涯学習講座・盛人大学の講師をはじめ、公共施設などでのセミナーやアドバイザー養成に時間を割いている。

「人生の二幕目をどうデザインするか。それぞれの健康生きがいづくりを支援することが（自身の）生きがい」と中尾さん。その活動は、事例集の付属DVDでも紹介されている。

書籍（税別1200円）とアドバイザーなどに関する問い合わせは、同財団（03・3818・1451）。

（伊藤典俊）

日本語スピーチ さいたまで大会

7日、留学生ら登壇

さいたま市内に在住、在学している外国人が日ごろ考えていることを発表する「第13回さいたま市外国人による日本語スピーチ大会」が7日、コムナーレ10階の浦和コミュニティーセンター（さいたま市浦和区）で開かれる。朝日新聞さいたま総局など後援。

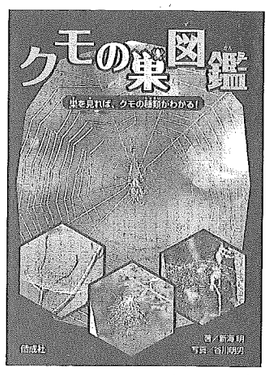
バングラデシュや韓国、インド、ロシアなど7カ国出身の留学生ら9人が登壇。テーマは「私の好きな日本のことば」。「あったかい」「みんな違ってみんないい」など、日本に来てから知った言葉にまつわる体験を話す。

正午に開場し、開演は午後1時。入場は無料で、当日先着順に受け付ける。問い合わせは主催のさいたま観光国際協会（048・813・8500）。

木坂涼の「本ともクラブ」

発見・

『クモの巣図鑑』



図鑑というのはなんて楽しいのだろう。植物、魚、鳥、昆虫。わが家の本棚にもさまざまある。ある割りには覚えられないのが悲しいところだが、児童書の図鑑類には、おとなにとっても十分読み応えのある本が多い。

今回取り上げた『クモの巣図鑑』も見ていて飽きない。巣の形、大きさ、巣の作り手の名前、獲物の捕らえ方、潜み方、どんなところで見かけるか、巣が見られる時期についてまでも、豊富な写真とともに紹介している。

巣の形の分類には、「円形」「ドーム形」「ハンモック形」と何種類もあり、写真を見れば「ああ、見たことがある」と思える。けれど「おうぎ形」というのもあって、そうと知らなければ円形の出来損ないか、作っている最中のものか、と思ってしまうだろう。しかもその巣を作るクモのなんてまでき れるちゃらけて、隠れ知る来損ないか、作っている最中！」そのものか、と思ってしまうだろう。しかもその巣を作るク

Weeklyランキング

（1月28日～2月3日）

1 順天堂大、さいたま市に付属病院開設へ（31日）

2 ヨーヨー世界大会5連覇

係から

慢性的な医師不足が深刻な埼玉県。順天堂大学がさいたま市に医学部付属病院を新設する方針を決

ベルマークだより

1月分

◇設備購入資金を取得

さいたま市　西区　宮前小▽北区　日進北小▽大宮区　桜木小、大宮南小、桜木中、大宮南中▽見沼区　片柳小、大砂土東小、島小、春野小、大谷小▽中央区　与野幼稚園、与野愛住幼稚園、大戸小、下落合小、八王子中

桜区　土合小、栄和小、大久保東小、新開小▽浦和区　岸町小、常盤北小▽南区　浦和別所小、沼影小、文蔵小、辻南小、善前小、大谷場中、南浦和中▽緑区　浦和ルーテル学院、中尾小、大牧小、原山小▽岩槻区　東岩槻小、岩槻中

川越市　川越第一小、中央小、大東西小、今成小、高階西小、大塚小、新宿小、川越小、高階中▽熊谷市　熊谷南小、三尻小、星宮小、久下小▽川口市　南平幼稚園、十二月田小、鳩ケ谷小、飯仲小、舟戸小、中居小、上青木小、青木北小、前川東小、上青木南小、並木小、木曽呂小、新郷東小、仲町小、東本郷小、青木中央小、領家小、小谷場中

行田市　まつたけ幼稚園、西小▽秩父市　西小▽所沢市　すずらん幼稚園、山口小、清進小、小手